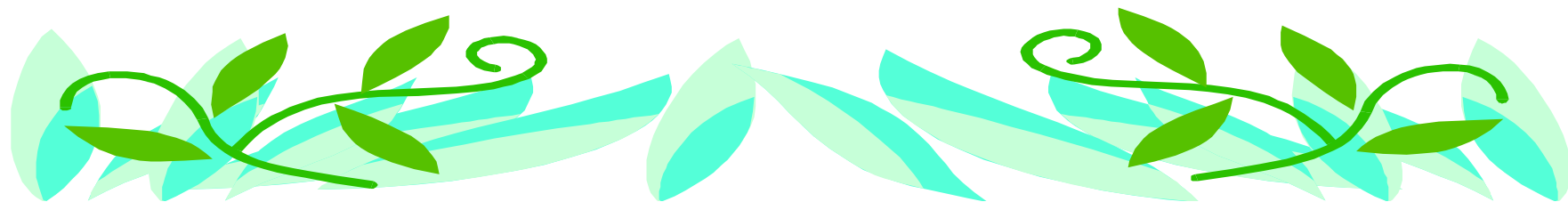


# 町民のきずな・コミュニティの維持・発展に向けた 取組と課題について



# 双葉町復興推進委員会において ご議論をいただきたい点(前回の確認)

- (1) 全国に避難している町民のきずな・コミュニティを維持・発展させていくために、当面の取組として、どのような事業・仕組み・アイデア等が考えられるか。
- (2) 町民のきずな・コミュニティを維持・発展させていく事業を町民活動で実施していくために、行政からどのような支援が必要か。

例)

1. 町民の交流機会の確保 (交流組織の設立支援等)
2. 連絡し合える仕組みの構築 (電話帳・情報端末等)
3. 情報提供の円滑化・充実化 (広報誌・ホームページ等)
4. 歴史伝統文化の記録と継承 (文化財・記録化等)
5. 避難先住民との交流の促進 (機会の創出、人材確保等)
6. 震災事故の教訓の記録と伝承 (記録誌編纂等)

# 1. 町民の交流機会の確保

## 復興まちづくり計画の記載

### ①自治組織の立ち上げ促進

避難先における自治組織の立ち上げを促進します

### ②町民有志によるNPO設立

町民有志によるNPOの設立を支援します。

### ③行政区組織の在り方検討

双葉町当時の地域のきずなの維持を図るため、行政区組織の在り方について検討を進めます。

## 取組の現状と課題

[現状] 全国で17団体が設立済  
(昨年より4団体増加)

[課題] 自治組織がない地域への自治会立ち上げ支援、自治組織への加入促進

[現状] 震災後町民有志により1団体の設立を確認

[課題] 自治組織との役割分担  
NPOの立ち上げ支援の在り方

[現状] 各行政区において総会を実施  
行政区長会から参加経費補助の要望

[課題] 総会等に参加し易い環境づくりに向けた国・県との協議  
(交通費・宿泊費・会場費等の補助)

## 復興まちづくり計画の記載

### ④町民主体の交流イベント企画に対する支援の仕組み構築

町民主体による交流イベントの企画に対する支援の仕組みを構築します。

### ⑤各地で開催される交流イベントの情報提供

各地で開催される交流イベントの情報提供を行います。

### ⑥高速道路無料化の継続による交流費用の軽減

高速道路の無料化の継続を国に要請し、町民の交流に係る費用の軽減を目指します。

## 取組の現状と課題

[現状]「ダルマ市」への助成  
各分野での交流イベント情報の収集  
[課題]各種支援制度の活用・創出・継続

[現状]町のホームページ・デジタルフォトフレーム・メールマガジン、ソーシャルメディア(フェイスブック等)を活用した迅速な情報提供  
職員・復興支援員がイベントを取材  
[課題]県外イベント開催の情報収集・取材  
ソーシャルメディア(フェイスブック等)の周知

[現状]無料措置期間 H26年3月31日まで  
国に延長を要請  
[課題]町民のきずな維持に必要な不可欠  
無料措置の長期的な継続

## 復興まちづくり計画の記載

### ⑦町民・民間による交流拠点の設置を支援

町民・民間団体による町民の交流拠点の設置を支援します。

### ⑧復興公営住宅等の整備とあわせて、集まれる場の設置

復興公営住宅等の整備にあわせて、地域の町民同士がいつでも集まれる場の設置に取り組みます。

### ⑨復興支援員制度を活用し、コミュニティづくりの人材確保と育成

復興支援員制度を活用して、避難先でのコミュニティづくりを担う人材の確保・育成を進めます。

## 取組の現状と課題

[現状] 仮設集会所・絆カフェの設置  
[課題] 借上げ自治会の集会所等の設置  
県内・県外の交流拠点の設置

[現状] 県・受入自治体と復興公営住宅の整備にあわせて個別協議中  
(いわき市、郡山市、南相馬市)  
[課題] 協議を進めて、設置の実現  
復興公営住宅の用地の確保

[現状] 本年11月までに復興支援員を5名配置(12月にさらに1名配置)  
[課題] 各避難先でキーパーソンの発掘  
復興支援員の増員・県外への配置の在り方

## 復興まちづくり計画の記載

### ⑩各種支援のための助成制度のデータベース化と仕組みづくり

コミュニティ支援に関する各種助成制度などをデータベース化し、紹介できる仕組みを構築します。



[現状] 助成要望に応じて適宜支援制度紹介  
[課題] 体系的な整理と情報提供の仕組みの構築  
ホームページや広報誌等で紹介

### ⑪国・県等への要請を通じた町民の自立的な活動費用の確保

コミュニティ関連の補助制度の維持・拡充を国・県等に要請し、町民の自立的なコミュニティ・きずなの維持のための活動費用の確保に努めます。



[現状] 支援制度がないものについてはその都度、国・県と協議又は要請  
[課題] 国・県の支援対象の拡大、使い勝手の改善

## あなたはどうお考えですか？（ご議論いただきたい点）

ア. 交流機会を確保するには、どのような方策が有効とお考えですか？

イ. 町民活動により、交流機会を確保するには、あなたができること、行政に期待することは何ですか。

## 2. 町民同士が連絡を取りあうことができる仕組みの構築

### 復興まちづくり計画の記載

#### ①電話帳作成について町民ニーズを踏まえ必要性を検討

電話帳の作成について、町民のニーズを調査し、その必要性を検討します。

#### ②気軽に連絡できる情報端末(タブレット等)活用の検討

町民同士が気軽に連絡が取れるような情報端末(タブレット端末等)の活用の検討を進めます。

### 取組の現状と課題

[現状] 住民意向調査にて町民の意向を調査中

[課題] 住民意向調査の結果を踏まえた検討  
オレオレ詐欺等への悪用への危惧

[現状] 導入のメリット、デメリットを検討中

[課題] タブレット端末費用、システムの保守費用  
や通信費等の財政負担  
高齢者等の利用促進

あなたはどうお考えですか？(ご議論いただきたい点)

ウ. 町民同士が連絡しあえる仕組みとして、どのような方策が有効とお考えですか？

エ. 上記の課題(電話帳に関するオレオレ詐欺防止、タブレットに関する利用促進)の解決について、良い方策があればお聞かせください。

### 3. 町からの情報提供の円滑化・充実化

#### 復興まちづくり計画の記載

①知りたい情報をより多く提供できるように、広報誌等を充実させる  
町の情報や町民の活動状況など町民のみなさんが知りたい情報をより多く提供できるよう広報誌等を充実させます。

②避難先での町民の活動状況等を提供するふるさと絆通信  
広報ふたばにおいて町民のみなさんの避難先での活動状況等を取材して掲載します。

③町のホームページ構成などわかりやすいものに適宜直す  
町民のみなさんが求める情報を迅速に提供するため、ホームページを活用します。そのため、構成などもわかりやすいものとなるように適時見直しを進めます。

#### 取組の現状と課題

[現状] 広報ふたば、コミュニティ情報誌の発行  
双葉町公式ホームページのリニューアル  
デジタルフォトフレームの活用  
[課題] 町民参加型の情報発信の検討  
広報誌とホームページとの併用による迅速かつ確実な広報の在り方

[現状] 広報ふたば内に、「ふるさと絆通信」のコーナーを創設  
[課題] 記事内容の充実

[現状] 8月末にホームページのリニューアルを実施  
[課題] 町民の意見等を踏まえた内容の充実



## 復興まちづくり計画の記載

### ④町のホームページの高度情報化

町のホームページの高度情報化(動画などの映像配信等)を図ります。

### ⑤WEBカメラによる町内映像をホームページにて提供

WEBカメラによる町内の映像をホームページにおいて提供します。

### ⑥ソーシャルメディアを活用したコミュニケーションの仕組みを構築

ソーシャルメディアを活用して町民と町との間で双方向のコミュニケーションを可能とする仕組みを構築します。

## 取組の現状と課題

[現状]ユーチューブでの動画配信を開始  
[課題]動画配信の周知・内容の充実

[現状]ふたば広域ライブカメラを町内16か所に設置  
[課題]ライブカメラの継続

[現状]8月末にフェイスブック、ツイッター、ユーチューブを新たに開設  
[課題]ソーシャルメディアの適正な運用の在り方  
迅速かつ適切な情報提供

## あなたはどうお考えですか？(ご議論いただきたい点)

オ. 情報提供を円滑・充実するには、どのような方策が有効とお考えですか？

カ. 町民参加型の情報提供を構築するときに、あなたができること、行政に期待することは何ですか。

## 4. 双葉町の歴史・伝統・文化の記録と継承

### 復興まちづくり計画の記載

#### ①文化財被害調査と保存・管理

清戸迫横穴墓をはじめ双葉町に所在する文化財の保存・管理を行います。

#### ②神楽等の伝統文化の記録(映像化等)

神楽等の伝統文化の記録(映像化等)を行います。

#### ③ダルマ市等のふるさと祭りの開催支援

ダルマ市等のふるさと祭りの開催を支援します。

### 取組の現状と課題

[現状]文化財レスキュー、被害調査の実施  
所有者との協議

[課題]清戸迫横穴墓の保全  
レスキューの方法及び保管施設の検討

[現状]イベント出演時にデジカメ等で撮影し、記録を保存

既存の画像等を記録媒体に再保存  
[課題]ホームページでの公開  
撮影保存対象の拡大

[現状]運営グループに補助金を交付

[課題]町民グループの掘り起こし  
国・県の支援を得た町の補助金の拡充の検討

## 復興まちづくり計画の記載

**④歴史・伝統・文化を検証し、データベース化・記録誌等作成**  
町民と学識者等により記録すべき歴史・伝統・文化を検証し、データベース化を検討します。

**⑤震災前の風景・生活等の記録の収集・デジタル化・掲載**  
震災前の双葉町の風景・生活等の記録を収集・デジタル化して記録するとともに町のホームページ等への掲載を検討します。

**⑥歴史・伝統・文化を継承するために記録誌・映像の作成**  
双葉町の歴史・伝統・文化が継承できるように記録誌・映像の作成に取り組みます。

## 取組の現状と課題

[現状] 震災前の記録、震災記録を活字・音声等で残すことを検討中  
[課題] 保存の在り方を検討する委員会の設置、データベース化の検討

[現状] 記録・データの収集中  
[課題] 町民等に呼びかけ収集する仕組みの構築

[現状] 映像記録のライブラリー化・アーカイブ化の検討  
[課題] 記録誌の策定のための委員会設置の検討

## 復興まちづくり計画の記載

### ⑦子ども・若者が歴史・伝統・文化にふれあい、学べる場の支援

子ども・若い世代を含めて、双葉町に歴史・伝統・文化にふれあい、継承するためのイベント(祭り)や教室等の開催を支援します。



[現状] 夏祭り等に補助金を交付  
生涯学習教室等114回開催(H24年度)  
[課題] イベント支援や生涯学習事業の継続実施

### ⑧伝統芸能継承者への活動支援

伝統芸能の継承者への活動支援を行います。(交通費の助成・場所の確保等)



[現状] イベント出演の際の旅費等を支援  
[課題] 補助制度の継続

### ⑨歴史・伝統・文化を学ぶ場の確保

子どもたち等が双葉町の歴史・伝統・文化を学ぶ場の確保を検討します。



[現状] 教育ビジョン(案)に当該事項を盛り込み  
[課題] 学校再開を契機にカリキュラムを策定

## 復興まちづくり計画の記載

### ⑩定期的な芸能祭の開催

定期的な双葉町芸能祭を開催します。

### ⑪各種イベントへの出演機会の確保

交流会、集会等の各種イベントへの出演機会を確保します。

### ⑫映像記録等を全国に発信し、町民がふれあえる機会を確保

双葉町の歴史・伝統・文化の映像記録等を広く発信し、全国の町民がふるさとの歴史・伝統・文化にふれあえる機会を確保します。

## 取組の現状と課題

[現状] 総合美術展・芸能発表会の開催  
[課題] 継続実施と開催地の拡大

[現状] 町内、県内外のイベント参加  
[課題] 出演機会の確保、避難先との文化交流の促進

[現状] 大学と共同研究等の実施  
記録のアーカイブ化の検討  
[課題] ホームページ上での情報提供の検討

## 復興まちづくり計画の記載

⑬文化伝承の各種助成制度を活用した支援と制度継続を要請  
文化の伝承等に関する各種助成について、民間財団、国、県の補助制度を活用した支援を検討するとともに、当該補助制度の継続を国等に要請していきます。



## 取組の現状と課題

[現状] 伝承活動に関する経費を助成  
[課題] 制度の周知・支援の継続

あなたはどうお考えですか？（ご議論いただきたい点）

- キ. コミュニティ・絆の再生に果たす歴史・伝統・文化の役割について、どうお考えですか？
- ク. 歴史・伝統・文化を記録・継承するために、あなたができること、行政に期待することは何ですか。

## 5. 避難先住民との交流促進

### 復興まちづくり計画の記載

#### ①避難先自治体等と連携し、交流会等の開催を促進

避難先の自治体や支援団体等と連携して双葉町民と避難先住民との交流会等の開催を促進していきます。

#### ②イベント(祭りや催事)への町民の積極的参加を促進

避難先のイベント(祭りや催事等)への双葉町民の積極的な参加を促します。

#### ③自治組織等が避難先住民と交流する機会への支援

町民の自治組織等が避難先において地域住民と交流する機会の創出を支援します。

### 取組の現状と課題

[現状] 仮設住宅集会場、絆カフェを中心に避難先との交流を実施

[課題] 関係団体との連携のもとでの更なる推進  
交流会開催情報の収集

[現状] 仮設住宅集会場の掲示板に案内し、参加を促進

[課題] 町民の積極的な参加を促す工夫  
周知方法の工夫

[現状] 各自治組織において、盆踊り・イベントを実施中

[課題] 交流の場の提供

## 復興まちづくり計画の記載

### ④復興支援員を活用し、地域住民とのコミュニティづくりの人材の確保と育成

復興支援員制度を活用して、双葉町民と地域住民を結びつける新たなコミュニティづくりを担う人材の確保・育成を進めます。



## 取組の現状と課題

[現状] 本年11月までに復興支援員を5名配置(12月にさらに1名配置)

[課題] 交流イベントの実施  
交流拠点の設立の支援  
町民の中でのキーパーソン発掘

### あなたはどうお考えですか？(ご議論いただきたい点)

ケ. 避難先住民との交流を促進するには、どのような方策が有効とお考えですか？

コ. 町民活動により、避難先住民との交流を促進するには、あなたができること、行政に期待することは何ですか。



## 6. 震災・事故の教訓の記録と伝承

### 復興まちづくり計画の記載

#### ①記録誌編纂に向けた体制整備と町民協力による記録の収集

震災と原発事故の記録誌の編纂に向けた体制整備を行います。町民の協力を得て震災時及びそれ以降の体験記録を継続的に収集します。

#### ②学校等と連動し、震災・原発事故の教訓を学ぶ場の確保

学校・教育機関と連携し、震災と原発事故の教訓を学ぶ場の確保に取り組みます。

#### ③震災・事故の教訓の展示施設・研究施設の設置を検討

「双葉町外拠点」において、この震災・事故の教訓の展示施設・研究施設の設置を検討します。

### 取組の現状と課題

[現状] 大学と共同で一部ヒアリング調査を実施  
[課題] 編纂のための委員会設置の検討  
ヒアリング調査の実施

[現状] 学校再開にあわせて今後検討  
[課題] 学校再開を契機にカリキュラムを検討  
「集まれ！ふたばっ子」等の活用

[現状] 文化庁に恒久的施設設置を要望  
[課題] 継続して要望  
復興公営住宅の集会場等を活用した展示の実施

## 復興まちづくり計画の記載

### ④ 経験・教訓を全国に発信する「語り部」支援

この事故の経験・教訓を全国に発信する「語り部」の人材育成を支援します。



[現状]「ふるさと絆通信」にて震災の経験記事を掲載

[課題]語り部人材の発掘と養成

### ⑤ 現状・取組を積極的に広報

避難生活の現状や復興へ向けた取組を積極的に広報します。



[現状]「ふるさと絆通信」、コミュニティ情報誌にて町民の避難生活の現状記事を掲載

[課題]重要課題の取組状況を迅速に広報

あなたはどうお考えですか？（ご議論いただきたい点）

サ. 震災事故の教訓を記録・伝承するために、あなたができること、行政に期待することは何ですか。

# 7. 町民活動のプロセスにおける各主体(町民等と行政)の役割について

